

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



中澤珀人 くん
(令和3年11月生まれ・鴻巣)
甘えん坊で泣き顔が多いけど、やっぱり笑顔が一番！
(父：健人、母：朋美)



児矢野恵令 ちゃん(右)
(令和3年1月生まれ・仁連)
いつもにぎやかな君たち2人が大好きだよ
(父：太介、母：直美)



小林颯人 くん
(令和4年9月生まれ・茶屋新田)
生まれてきてくれてありがとう！ 元気に育ってね♡
(父：拓也、母：詩織)



鈴木真生 くん
(令和3年7月生まれ・中央町)
7月で2歳になりました。納豆と大谷翔平選手が大好き。
(父：龍太、母：美桜)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください！



わたしの夢

おいしい料理を作る調理師に 山川漣さん 下辺見小学校6年生

僕の夢は、おいしい料理を作る調理師になることです。僕は家庭科に対して苦手意識がありますが、料理は大好きでした。そのために、小学5年生の頃から料理教室に通い始めました。中学生になったら、家族の料理を一人で作りしたいと思います。

調理師になるには、料理の技術はもちろん、料理の知識、さらには新しいメニューを作るときには創作性も問われるかもしれません。そのために、中学や高校、大学などで料理のうでをみがきたいと思っています。



キラリ 古河ビト

自分らしさを一筆に込めて
全国書き初め展覧会文部科学大臣賞受賞
清水咲希さん(22歳・東本町)
昨年開催された第38回全国硬筆コンクールで全書会大賞、第38回全国書き初め展覧会で文部科学大臣賞を受賞しました。今後のさらなる活躍が期待される清水さんに、書に対する思いやこれからの目標などについて伺いました。

清水さんが書と出会ったのは小学3年生の時。祖母の知人が書道の先生だったことがきっかけで硬筆を習い始めました。高校在学時には流派の最高段位を取得するなど、その才能を発揮してきた清水さんですが、やり遂げた達成感から、高校2年生の時に一度書の道から距離を置いたそうです。

書から離れていた約2年間、Instagramでさまざまな作品を見てきました。その中で自分の理想とする文字に出会い、SNSを通じて同じ思いの仲間と知り合ったことで、再び書に対する熱い感情が湧き上がったと清水さんは話します。硬筆コンクールや書き初め展覧会への出品も、仲間の後押しがあったからこそ。初出品ながら、見事に文部科学大臣賞という名誉ある賞を受賞することができました。受賞した作品は、余白や行間など全体のバランスを重視しながら線の強弱を大切に、清水さん独自のアレンジを加えた最高傑作です。

「上手に書けたと思っても、数日後に見直すとあらが見えてくる。それは自分が成長している証し」と語る清水さん。自分の教室を開き、書の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいという夢を叶えるため、現在も日々成長を続けています。



▲一筆一筆心を込めて書き上げます



▲受賞した渾身の作品



▲文部科学大臣賞の賞状とトロフィー